

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○10月24日～

先週金曜の23時半頃に為替介入が入りました。
一気に6円ほど円高に振れた後、少し戻してマーケットは終わっています。
今回はNY時間の介入で、米国も歩調を合わせるように利上げのペースが12月以降は緩やかになるとコメントしているため150円以上の円安は問題とはなっているものの円安を止めるには材料不足。今後もじわじわと円安が進行する可能性が高いです。

<ドル/円>

ドルは152円手前で介入が入り急落後、146円あたりで一旦は下げ止まり。
ここを割り込まない限り、上昇していくので、タイミングよく買っていきたいです。

<気になるクロス円>

クロス円もドル/円の介入と同時に急落。
底打ちもドル/円とほぼ同時期なので、安いところを上手に買っていきたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では日銀金融政策決定会合、日銀展望レポート、10月東京都区部消費者物価指数、黒田日銀総裁定例会見などがあります。

米国では10月製造業・サービス部門・総合PMI（速報値）、8月ケース・シラー米住宅価格指数、10月消費者信頼感指数、10月リッチモンド連銀製造業指数、9月新築住宅販売件数、7-9月期GDP（速報値）、9月耐久財受注、前週分新規失業保険申請件数、7-9月期四半期雇用コスト指数、9月個人消費支出、10月ミシガン大学消費者信頼感指数の発表などがあります。

欧州ではユーロ圏とドイツで10月製造業・サービス業PMI（速報値）、ユーロ圏でECB政策金利発表、ラガルドECB総裁定例会見、ドイツで10月IFO企業景況感指数、7-9月期GDP（速報値）、10月消費者物価指数などがあります。

ほかにはカナダで政策金利と8月GDPの発表などがあります。